



# 生涯学習のすすめ

「オーケイ、ベリーグッド」

串本町公民館では毎週土曜日の午後七時三十分から串  
本高校開放講座の英会話教室が開かれています。

受講者は二十歳台から六十歳台まで。職業や英語の学  
習経験はまちまちですが、学習意欲はみな十分。

講師は串本高校で英語を教えていた西畠先生と英会話  
講師のスティーブ先生。スティーブ先生手作りのテキス  
トを使って海外旅行での会話を中心に勉強しています。

福沢諭吉の「学問のすすめ」以来百十年余  
り。わが国の生活水準、教育水準は向上し、  
自由な時間も増えました。技術革新や情報化、  
それに高齢化、国際化が進むいま、生涯にわ  
たる学習への意欲が高まっています。

「職業や家庭生活についての知識を学びた  
い」「仕事以外にも生きがいを」「老後の生  
活を豊かにしたい」「社会の変化に対応でき  
るように」……動機はさまざまですが、自主  
的で自発的な学習をしたいという人が増えて  
います。

県では、いつでも、どこでも、だれでも学  
べるよう県立高校の開放講座や各種スポーツ  
教室を実施しているほか、各市町村の成人教  
室や高齢者教室を補助しています。

記憶力は年齢とともに衰えますが、思考力  
や判断力をさらに高めていくことは可能です。  
また、こうした教室を通じて地域の連帯が強  
まり、地域社会の活性化にもつながっていき  
ます。

「習うは一生」

あなたも何かにチャレンジしてみませんか。

# 進めよう 紀州ふるさと運動

県では「いきいき紀州」をテーマに、豊かで住みよいまちづくりを目指す「紀州ふるさと運動」を提唱しています。

この運動の目標は「心ふれあうまちづくり」「活力あるまちづくり」「個性あるまちづくり」。具体的には「心ふれあうまちづくり」では地域の連帯感や郷土愛をはぐくみ、ぬくもりのある地域社会をつくるための

- ・文化活動の育成
- ・ボランティア活動の育成
- ・地域間交流の推進
- ・イベントの開催
- ・小さな親切の実施など

- ・花いっぱい、緑いっぱいのまちづくりなどが考えられます。
- ・風景のあるまちづくり
- ・清潔なまちづくり
- ・花いっぱい、緑いっぱいのまちづくりなどがあるまちづくり
- 七月二十四日に県民文化会館でこの運動の推進母体となる紀州ふるさと運動推進協議会が発足。「紀州ふるさと運動」を積極的に進めていくことを決めました。

## 県民の友

### 第一部

#### 紀州ふるさと運動の主役

#### 第二部

#### お楽しみ抽せん会

#### 第三部

#### お楽しみ抽せん会

#### 第四部

#### お楽しみ抽せん会

### 第二部

#### 県民100人に聞きました

#### 第三部

#### お楽しみ抽せん会

#### 第四部

#### お楽しみ抽せん会

## いま、何かが始まる

### いきいき紀州 わかもちわがむらフェスティバル

10月26日(土)午後1時 貴志川町勤労青少年体育センター

11月17日(日)午後1時 串本町立体育馆

会場。

串本町で紀南地域を対象に同フェスティバルが開催されます。なお、この運動のイメージソング「愛するこの町」がこのほどで

きました。大会当日、この曲を歌っているダ・カーポが披露してくれることになっています。



## 愛するこの町

作詞／荒木とよひさ 作曲／柳原まさとし 編曲／田中章 唄／ダ・カーポ

この町は みどりの色が 似合っているから  
あしたという心の 心の種子を  
若さには 夢がいっぱい つまっているから  
希望という 花が 花が咲くのさ  
僕たちが 生まれた町は  
新しい みんなの ふるさとだから  
ふれあいの 微笑で  
ふれあいの やさしさで  
愛する この町 この和歌山

この町は 青空の歌が 聽こえているから  
あしたという瞳に 瞳に雲を  
若さには 力の川が 流れているから  
未来という 海が 波が広がる  
僕たちの うけ継ぐ町は  
新しい みんなの ふるさとだから  
ふれあいの 歌声で  
ふれあいの やすらぎで  
愛する この町 この和歌山

ふれあいの 微笑で  
ふれあいの やさしさで  
愛する この町 この和歌山  
ふれあいの 歌声で  
ふれあいの やすらぎで  
愛する この町 この和歌山

高野山大学の松長有慶学長（串本

第一回の講演。講師は大阪商業大

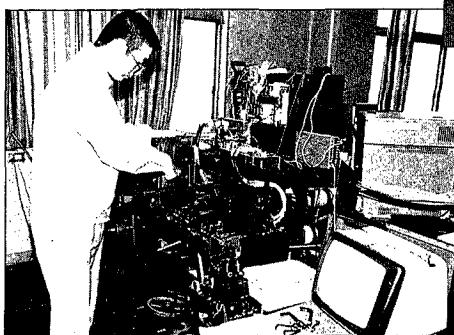
学の村田博穂教授（貴志川会場）、

同時に運動広場では各市町村の

特産品の即売などが行われます。

くわしくは県庁文化振興課へお

問い合わせください。



# 県工業試験場

マイコン利用による  
メリヤス針の検査  
修正システムが完成

県工業試験場では、メリヤス編み機の針を自動的に検査、修正する画期的なシステムを開発しました。メリヤス編み機には一台あたり平均三千本程度の針が使用されていますが、一定期間使用すると曲がりなどのある不良品を、修正、交換する必要があります。今まで手で曲がった針の検出、修正はすべて人手に頼っていましたが、今回開発されたシステムはすべて自動化されており、スピードは人手の二倍

場合は排除していきます。このシステムは毎日多量の針を検査する針の製造メーカーには最適で、すでに全国各地から問い合わせがあり、これが実用化されると安い、性能の良い針が供給され、ひいてはメリヤス生地のコストダウンにつながると期待されています。

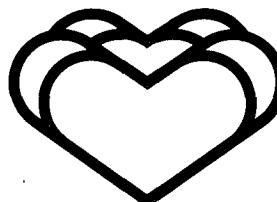
今後も県工業試験場では、県内地場産業の活性化を図るために、幅広い分野で新技術の開発に取り組んでいきます。

ぼくは学校からかかるとき、いつも手をつけないで帰るところを、できめました。ときどき、よそのくらすの子やじょうきゅうせいに、おされると、すぐにたおれてなきります。ぼくはそんなとき「Aくん、なきなよ、なきなよ」となんかいいます。そしたらよけい大きくなこえでなきます。ぼくはじょうきゅうせいに、「おしたりなよ」というしてもいえません。ぼくはくらん音もちになります。でも、こ

**A**くんのたんじょう日に、ぼくはかぶとむしとAくんのかおをかいてプレゼントしました。Aくんはとてもよろこんでくれました。おばちゃんも「ありがとう、ありがとう」といってくれました。Aくんが、ぼくたちの学きゅうへきたときは「Aくん、おかえり」といつてAくんとなかよくえ本をよんだりしています。ぼくはAくんが大きです。

県民の友

## いきいき紀州



紀州ふるさと運動

補助限度額  
一〇〇万円（補助対象事業費の二分の一以内）  
問い合わせ先 県庁文化振興課  
※当初分は先日、受け付けを締め切り、現在審査中です。

最近、金の現物まがい取引、商品先物取引、マルチ商法、マルチまい取引などでトラブルが多発しており、今後ますます増加することが予想されます。

法の網をくぐり、消費者を食ひものにする悪徳商法があの手この手でお年寄りなどをねらっていきます。

ウマイ話には必ずウラがありまます。本人も周囲の人も十分気をつけて被害を未然に防ぎましょう。

ほくにはAくんというともたちがいます。Aくんとぼくは大のなつかよしです。Aくんは足がよわいのです。あるとき、ふらふらしてよくじるびます。おはなしもうまくできません。でもなわとびのとき、とべないけど、ひつじょうけんめいとぶけいこをしてがんばっています。ぼくはえらいなあとおもいます。

んでもAくんかいじめられたとき  
ゆうきをだしてはつきりとおとうじ  
おもいします。

ふるわと運動推進のお手伝い

内)を限度に補助する「市町村振興補助金」の制度も新しく設けま  
た。

惡魔商去了

# Aくんとぼく

同和連載

# 健康と美容に 野菜を食べよう

野菜は茎や葉、根、果実など種類によって食べるところは異なりますが、どの部分も栄養がいっぱい。

私たちの健康な生活に欠かすことのできないビタミンやミネラルの宝庫です。

そのうえ、便秘をはじめ肥満、成人病などを予防し、健康、美容に効果のある食物繊維も豊富に含んでいます。

四季を通じ私たちの食卓をいろいろ味覚を  
楽しませてくれる新鮮な野菜をもりもり食べ  
て健康と美しさをいつまでも保ちましょう。

あらゆるものとしないものとが  
後者で、アラビア語といふ語、最近  
野菜市場でもよく見かける英米の赤  
いぢり、レタスなど中華の中  
間です。レタスは日本の方で育てる時  
でくせがなく、のこぎりの形を保じ  
られ、食生活が西洋化するに合  
うに欠かさない存在になりました。  
ヒタミンBが豊富に含まれ  
るほか、ビタミンC効果のある  
レタスを含んでいるのが特徴で  
ます。レタスの中多めのエラフタ  
など、美容食にもよく使われ、味が  
淡白なのでどんなものともよく合  
います。

チシャ（レタス）

肉質の味は、肉質力の弱い  
ものが、その「コラーゲン」の量  
肉質で、弱いが、その量が  
ひらやかで、その「コラーゲン」の量  
に、使用する。アーモンドの味  
ピタミンAの味、正しくは、  
まれてるので、その味の  
まほ利潤するよ。

④卵<sup>クニ</sup>を泡立<sup>ハサシテ</sup>、粉チーズ、小麦粉を絞り<sup>スル</sup>かき混ぜる。

⑤ヘラで炒め<sup>フリフリ</sup>る間に、油をひいて中華の油でさわって焼く。

⑥(アヒージョ)で塩で味をだす。焼く。

マーチン<sup>マーチン</sup>でやつすことをためらう。

⑦(ハム)は油をとらず、もぐらの粕子<sup>モコ</sup>本状<sup>ムサシ</sup>にして、カツレツの形で焼く。

ハムを焼く。

サヤエノヅ







昭和60年10月1日

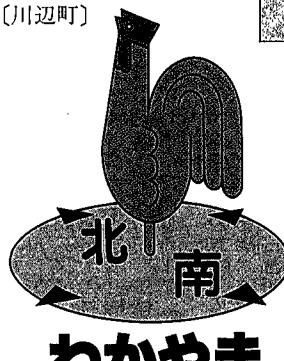
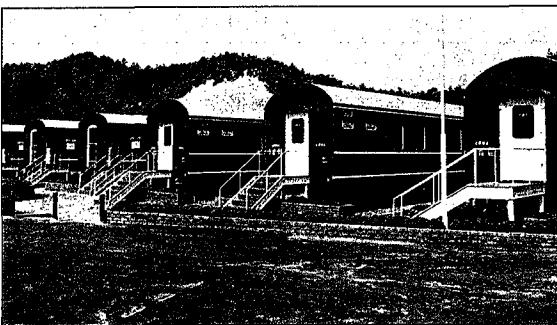
県民の友

## 珍しい「トレン・ロッジ」オープン

川辺町では、国鉄の廃寝台車と客車を3両ずつ購入して改装。同町南山に「トレン・ロッジ南山」と名付けたユニークな宿泊施設をオープンさせました。

これは近畿地方では初めてのもので、宿泊人員は200人程度。別にシャワー室や自炊場が完備、料金も個人1,300円、中学生以下1,000円と格安で予約が殺到しています。

同町南山には、陸上競技場や野球場などを含む県下有数の総合スポーツ公園が造られており、このロッジとともに、ますます脚光を浴びるものと地元では大きな期待を寄せています。 [川辺町]



わかやま

**那賀郡生活学校まつり**

那賀郡内二十一校の生活学校では、八月二十四日、二十五日の両日、岩出町で、「ごみに光を」をテーマに、物を大切にすることをねらいとして生活学校まつりを開催しました。ごみの中から資源を掘り出そうなど、スローガンに回収した空き缶は四十七万七千余個で、予想外の多さにみんなびっくり。空き缶についてのマナーの必要性を再確認しました。

また、泉の広場での手づくり食品、不用品等の展示即売も好評で、大勢の人でぎわいました。

[岩出町]



九度山町椎出の厳島神社で

八月十六日、四百五十年前から伝わる神事「鬼の舞」(県無形文化財)が奉納されました。

この神事は、触ると子どもが元気に育つといわれる二メートル余の棒を赤鬼が振り回し、太鼓や笛、謡に合わせて勇壮に舞い、豊作や村人の幸せを祈るものでした。

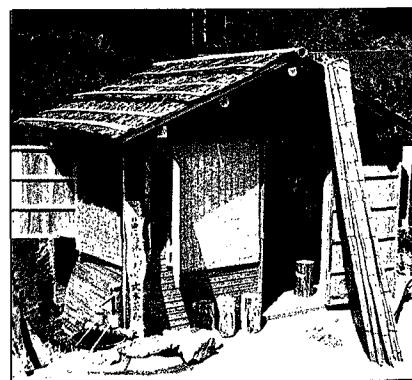
今年は、江戸末期からとだえていた「農民夫婦」も復活し、境内を埋めた見物人は盛んに拍手を送っていました。

[九度山町]

## 杉間伐材で式水茶屋

日本三大古道のひとつである熊野古道の通る本宮町伏押に杉間伐材を利用した無料休憩所ができました。古道を歩くハイカーたちが民家に「お茶をください」と訪れることが多いため誰でも無料で休める古道茶屋を造ったもので、和泉式部の供養塔がある伏押王子跡と水呑王子跡の中間にありますから「式水茶屋」と名付けられました。本宮町では、古道のパンフレットにこの茶屋を加え、観光客に喜んでもらうとともに、古道ブームの盛り上がりを期待しています。

[本宮町]



## プール遊びに歓声

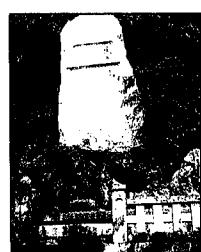
八月二十四日、二十五日の両日、「心身障害児親子のつどい」が、約千人の参加者を集め白浜町で開かれました。模擬店やマンガ劇場の上演など楽しい催しが行われましたが、子どもたちにはとりわけプールが大人気。楽しい二日間を過ごしました。

[白浜町]



## みかんのルーツ

シリーズ③



みかん栽培が盛んになった経緯にはいろいろな説がありますが、今回は伊藤孫右衛門の話を紹介します。

有田は温暖で土地も肥沃なのに、耕地が少なく暮らしが貧しいため、有田郡糸我荘の庄屋、孫右衛門(一五四三年～一六二八年)は、山に開いた畠でも栽培できる作物を探していました。

ある時、肥後の國、八代に旅することになり、そこでかねて多額の収益をあげていると聞いていた

みかんの苗を持ち帰ろうと上司に相談。「盆栽として楽しみたいのでこの

者にみかんの苗を」との書状を預かった孫右衛門は、持ち出しを禁止されていた苗二株を手に入れることに成功しました。遠路のため樹勢が衰え、上司の庭に植えた苗はすぐ枯れましたが、孫右衛

門の自宅に植えたもう一本の苗は丹精のかいあってみごと黄金色の実を結びました。この木から日本一のみかん(小みかん)が育っていきました。見渡すかぎりみかん畑が続く有田川沿いにある伊藤孫右衛門の顕彰碑は彼の功績をたたえて大正四年に設立されたものです。

あきらかに、健康野菜、といつと秋、さわやか、健

ききが

たらちょっとイメージの飛躍でしょうか。

四、五面で健康食として最近ますます評議の高い野菜を紹介しました。国立ガン

研究所の報告では、緑黄色野菜をよく食べる人はガンで死亡する比率も非常に低いとか。ベルトの穴が気になる熟年の方々にも野菜の効用は大きいようです。

○県民の友に対するご意見、ご感想をください。広報公聴課「県民の友」係までお寄せく

